

国税庁 長官官房 国際業務課 国際業務係 係員

松本 ありみ 令和3年入庁

経済のデジタル化に伴う国際課税上の課題への対応や、新型コロナウイルス感染症への対応等、現在世界の税務当局は数多くの課題を抱えています。私が所属する国際業務係では、経済協力開発機構(OECD)に関する事務を担当しており、世界共通の課題に対する議論への参加等を通じて、適正・公平な課税の実現に貢献しています。

入庁してまだ一年目ですが、今年度はオンライン形式の国際会議も多く、様々な国際会議に携わることができました。自身の経験や知識不足を痛感することもあります。周囲の人に支えられながら日々業務に取り組んでいます。

国税庁は、税という柱を通じて国内外問わず幅広い業務に携わることができます。少しでも興味を持った方は、是非国税庁の門を叩いてみてください。



会議の資料準備

国際会議は新型コロナウイルス感染症への税務当局の対応策や、税務行政のデジタル化等、税務行政に関する様々なテーマを取り扱います。そのため、テーマに関する関係課室と綿密なコミュニケーションを取りながら資料を作成していきます。国税庁が行っている最新の取組について調べることも多く、非常に勉強になります。



国際会議への出席 (オンライン会議)

OECD事務局や各国の税務当局の職員と意見交換を行います。同じテーマでも国によって考え方が大きく異なるため、新たな知見を得られる貴重な機会です。会議では英語が用いられるため、言語の壁に悩むこともしばしばあります(笑)



登庁

通勤時間が約30分と比較的短いので、通勤時間はニュースサイトを見たり、一日の仕事の流れを頭の中で整理したりしています。

昼休み

普段はお弁当を作って自席で食べています。しかし、天気がいい日は友人等とランチに行く日も。今日は同期と一緒におしゃれな店にやってきました!

上司への報告



国際会議における発言内容について、上司に確認を行います。国税庁を代表して発言を行うことになるので、用意した発言内容がどのような資料やデータを根拠に作成されているのか明示することを意識しています。

退庁



時差の関係で夜間に国際会議が行われる日もありますが、基本的に18時頃には退庁しています。退庁後はちょっと凝った料理を作ったり、体を動かしたりと自由な時間を謳歌しています!

1日の流れ

国税庁 長官官房 企画課 企画第二係 係員

後藤 優太 令和3年入庁

昨年、9月にデジタル庁が発足し、デジタル社会の実現に向け、様々な検討が行われています。国税庁においても、政府方針の下、納税者利便の向上に向けたデジタル関連施策を講じており、私が所属する企画課ではデジタル・ガバメント推進に関する取りまとめを行っています。至らない点も多いですが、上司の方々にご指導いただきながら業務を進めています。ときには、国税組織全体の方向性を決める場に関与することもあり、責任感のあるポストにやりがいを感じています。

国税庁には、「税」という専門性を磨きつつ、国内外問わず様々なフィールドで活躍できる機会があります。また、若手であっても、国税局(所)や税務署を含めた国税組織全体をマネジメントする経験ができる点に魅力を感じています。このパンフレットを手にしている皆様も是非一度説明会に足を運んでみて下さい。



登庁



通勤時間は、音楽やラジオを聴いたり、本を読んだりして過ごすことが多いです。私は、9時半から勤務していますが、始業時間は自由に決めることができるため、朝が苦手な方も安心です。

昼休み



昼食は霞が関周辺のお店や庁舎内の食堂に行くことが多いです。午後の業務に向けて、しっかり食べてエネルギーを蓄えます!

上司への説明



係の業務は多岐にわたるため、各個人に主担当となる業務が割り当てられますが、係の業務に係る最終的な方向性は係長が決定するため、業務の進捗状況について、上司に説明、報告します。係長からフィードバックをもらうことで、新たなアイデアを得ながら、業務の進め方についてアドバイスをもらいます。

退庁

執務室にてメールチェック

前日までに届いたメールのチェックから1日が始まります。この時間で、今日中に対応しなければならぬ業務を整理し、優先順位をつけ、1日の大まかなスケジュールを組み立てています。



外部との打ち合わせ

私が所属している企画課では、外部のベンダーの方々と打ち合わせをすることも少なくありません。打ち合わせの前には、予めどのような話し合いが行われる予定なのか整理してから臨むよう心がけています。打ち合わせを終えると、話の経過や決定事項、質疑応答等を議事録にまとめ、関係する部署に共有します。

